

公益財団法人 8020 推進財団

令和元年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：地域とともに 8020 推進活動

2. 申告者名：(一社) 十勝歯科医師会 会長 大滝 達哉

3. 実施組織：(一社) 十勝歯科医師会

4. 事業の概要：地域住民の口腔健康増進のため、平成 19 年から (一社) 十勝歯科医師会が進めている、住民参加型の 8020 運動を継続・推進する。今年度からは、新たにプラットフォームとしての歯科 (プラットフォーム戦略における「患者 to 歯科 to 多職種連携」との関係) の構築にも力を入れ取り組んで行き、今年度も口腔健康のみならず、医科歯科連携として口腔と全身疾患 (糖尿病) との関連性また周術期口腔ケア・禁煙サポート・肺炎予防・睡眠時無呼吸症候群連携についての啓蒙活動も取り組んだ。

今年度は、「知られざる生活習慣病 口呼吸をやめて万病を治す!」と題して、福岡県で開業されている今井一彰先生をお招きし、あいうべ体操の講演会を一般市民向けに行い、続いて歯科衛生士の立場からの口腔ケアの講演も行い啓蒙を行った。また、歯科サイドからの一方的でない、地域住民からの要望に答えそれぞれの地域に健康出前講座として足を運び、8020 推進活動並びに口腔機能の大切さを啓蒙し地域活性化の一助とした。

5. 事業の内容：

1、8020 推進員の啓蒙活動：8020 推進員には、今年度も各イベントに参加協力して頂き、噛むカムチェックガムやあいうべ体操のお手伝いをしながら地域住民への口腔の健康向上啓蒙活動を行った。

2、対外的広報活動：一般市民向け講演会は昨年度から医科歯科連携で継続している。今年度は北海道病理診断所所長北村哲也先生をお招きし、「病理診断の活用～確実な診断から安心の治療へ～」近年の口腔癌の問い合わせの急増から我々 GP がどう患者と向き合ったら良いのか、また細胞診のバイアルを用いた手段等、かなり充実した内容であった。また、「知られざる生活習慣病 口呼吸をやめて万病を治す!」と題し、医師今井一彰先生をお招きし、あいうべ体操を提唱する今井先生を講師にお迎えして行いました。

口腔の健康から全身の健康をお話して頂き、来場した 200 名を超える市民も満足の講演内容であった  
3、地域住民からの要望があった健康出前講座に足を運び希望する内容の講演をおこなった。また、管内中・高生向けに口腔ケアの重要性の授業も行った。

6. 事業評価 (今後の課題)

・住民参加型による「8020 運動」は、口腔健康の増進活動の裾野が少しずつ広がってきている。また対外広報や他団体のまちづくり事業に参加することで十勝・帯広の中心部の活性化の一助や幅広い世代と共に 8020 推進と啓蒙活動が行えた。今後、歯科疾患実態調査でも 8020 達成率が 50% を超えた事からも歯科単独のイベント等で口腔健康の啓蒙、受診率の向上を目指すだけでなく、地域を活性化し、地域全体の活気が歯科界の活気につながる様今後も続ける必要があるし、従来型の歯科治療からフレイルを意識した口腔機能の健康の充実を図る体制作りを行う必要がある。・活動の更なる飛躍のために 8020 推進員の人数を増やしてそれぞれのお住まいの地域でお口の重要性についてお話いただく事でオーラルフレイル予防の啓蒙活動につなげることができた。・健康出前講座の要望は若干減少しており今年度も 150 名参加の講演依頼があり 8020 推進の啓蒙活動に役立った。またそれと並行して中高生向けに口腔機能の重要性について授業を行った。

・8020 推進をあらゆる方法で啓蒙し今回の講演会では地域住民を含め 200 名を超える参加があった。少しずつ広がってはいるがまだ沢山の地域住民のご理解を得られているとは言えずもっと沢山の地域住民に積極的に参加いただきお口の健康の重要性を知っていただく必要性を感じた。これからも様々な連携を取りながらどの様に地域住民に周知しひとりでも多く参加いただき 8020 運動を推進していくかが今後の課題だと思います。